

輸送動向について(1月分)

平成18年2月

1. 輸送概況

昨年12月25日に羽越線北余目～砂越駅間で旅客列車が脱線・転覆し、不通となっていた同区間は、1月19日に25日ぶりで開通した。この間、76本の迂回列車を運転した他、酒田港駅～新潟貨物ターミナル駅間などトラックによる代行輸送を実施し、輸送力の確保に努めたものの、上旬から中旬にかけて、日本海側を中心に各地で大雪による輸送障害が断続的に発生したため、今月は月全体では高速貨401本、専貨7本が運休となった。

荷動きについては、羽越線の不通の他、度重なる雪害の影響を大きく受け、輸送量全体では対前年101.0%と前年実績を上回ったものの、軟調に推移した。

コンテナ貨物では、食料工業品や積合せ貨物等が前年を下回ったが、車扱のコンテナ化により増送となった紙パルプ等の他、北海道地区の米が好調であった農産品及び自動車部品等が前年を上回り、コンテナ全体では前年比101.4%となった。

車扱貨物では、紙・パルプ及び化学工業品が前年を下回ったものの、上旬の低温により緊急出荷があった石油の他、昨年一部顧客の工場で定期修繕がなされた関係で増送となったセメントが前年を上回り、車扱全体では前年比100.5%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,606	1,584	101.4%	18,513	18,240	101.5%
車 扱	1,511	1,503	100.5%	12,105	12,046	100.5%
計	3,117	3,087	101.0%	30,618	30,287	101.1%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農 産 品	80	74	6	108.1%
	生野菜青果物	72	71	1	101.4%
	化学工業品	152	155	-3	98.1%
	化学薬品	136	134	2	101.5%
	食料工業品	199	204	-5	97.5%
	紙パルプ等	293	277	16	105.8%
	他工業品	118	114	4	103.5%
	積合せ貨物等	172	178	-6	96.6%
	自動車部品	50	42	8	119.0%
	エコ関連物資	38	40	-2	95.0%
	その他	296	295	1	100.3%
コンテナ計	1,606	1,584	22	101.4%	
車 扱	石 油	1,075	1,064	12	101.1%
	セメント	84	74	10	112.9%
	石 灰 石	62	59	3	105.3%
	車 両	160	161	-1	99.4%
	紙・パルプ	28	36	-8	78.3%
	化学工業品	49	54	-4	92.2%
その他	52	56	-4	93.2%	
車扱計	1,511	1,503	8	100.5%	
合 計		3,117	3,087	30	101.0%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)